

時間割コード	G2B55734	開講年度	2026				
授業題目	環境データサイエンスゼミ					担当教員	高木 丈子 他
英文授業名							高野 嘉寿彦
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	金曜・3時限 集中・不定期	対象学生	全
講義室	共通教育 4 0 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP 的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	環境関連行政や企業活動の現場などにおける実務家のデータのまとめ方を理解し、自身の考えをまとめ発表できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	様々な環境課題に取り組む行政組織や民間企業の方々からの話題提供をもとに、どのようにしてデータを得て活用を図っているのかを学び、理解を深めていきます。 各団体からは、それぞれ2回から3回での話題提供をいただき、それぞれの組織の事業活動をどのように進めているのか、具体的なデータの構成を知り、事業や課題解決へのプロセスを理解します。 その過程において、データサイエンスの見方を生かして、自身が新たな課題を発見したり、情報提供いただいた内容を自身の視点で見つめなおし、考察します。 また、話題提供の内容に応じて、個人またはグループで検討し、発表までを行う場合があります。 環境行政の実務経験を有する担当教員やデータサイエンス担当教員らが、その経験を生かして各団体の話題提供による学びのサポートをしながら、授業を行います。						
(5)授業のキーワード	課題解決・発見、グループワーク、データサイエンス、環境政策、森林政策、地方創生、生物多様性、生態系サービス、自然資本、持続可能な開発、自然再興、気候変動、循環型社会、環境マインド、実務経験						
(6)授業計画	1. 授業スケジュール 金曜日 3 限目のゼミ（14回）と 1 回のフィールドワーク（祝日を予定）を組み合わせます。詳しい日程は、eALPSに掲載します。 基本的に1団体につき3回の授業もしくはフィールドワークを行います。 【予定組織（五十音順）】 ・アート金属工業 ・環境省（中部環境局） ・麒麟ホールディングス（メルシャン） ・国立環境研究所 ・林野庁（中部森林管理局） （1）ゼミ（キャンパス内） 環境課題に様々な視点から取り組む組織の方々に、2～3回のゼミ活動において、各組織の概要や事業を紹介いただくとともに、事業に取り組む際に活用しているデータを提示いただき、他の様々なデータ等と比較検討するなどの活動を行い、自身で考察を深めその内容をレポートやプレゼンテーション資料として取りまとめます。 （2）フィールドワーク（キャンパス外・上田市内を予定：日程は変更の可能性あり） 後期期間中の祝日に、アート金属工業の工場見学を行います。 ※ ゼミの最終回には、まとめ・授業アンケート（最後の15分で実施）を実施します。						
(7)成績評価の方法	各話題ごとに指定された課題などを評価し、全話題でそれらを総合的に評価します。						
(8)成績評価の基準	提出課題や討論の多くが合格水準にあれば「その水準にある」、提出課題や討論のほとんどが合格水準にあり、さらに提出課題や討論の多くで上にある水準の評価を得れば「やや上にある」、課題や討論のほとんどで上にある水準の評価を得れば「かなり上にある」、その上で、授業に相応しい良い質問・発問が討論に際してできれば「卓越している」。 なお「合格水準」には授業時間内の課題への関わり方も含みます。 期末試験は行いません。						
(9)事前事後学習の内容	特段の指示をした回以外は、予習は求めません。しかし、日頃から環境問題や生成AIなどに関心を持ち、自己との関連性について考える訓練をしておいてください。 資料等が事前に指定された場合は授業までに各自で読んできてください。課題によっては授業時間後の提出を要請するものもあります。期限内に提出してください。 課題等の作成に当たっては、最新のTVニュースや新聞記事等に注意を払うとともに、学術誌や図書など様々な情報媒体を使って自己分析の上、作成するようにしてください。 また、授業で学んだ施策の現場を訪れるなど、知見と経験を深めることを推奨します。 ※この授業は、90時間の学修を必要とする内容です。従って60時間以上の時間外学習が必要です。						
(10)履修上の注意	・グループ活動があります。欠席するとグループメンバーに迷惑がかかります。グループ活動で感染症等により欠席の際は、事前に教員、メンバーに連絡してください。 ・フィールドワークにかかる費用（交通は手配中のため、決まり次第連絡します）は自己負担になります。						

(10)履修上の注意	・学研災・学研賠に加入してください。 ・本講義は共通教育特別横断プログラムの一つである「環境マインド実践人材養成コース」のコア科目です。定員を上回り抽選となった場合、環境コースの受講予定者を優先する場合があります。
(11)質問,相談への対応	授業中や授業時間後に質問や相談に応じます。また、研究室訪問やメールでも随時受け付けます。不在の場合もあるので、訪問の際は事前アポイントをお願いします。 メールアドレスは、takeko_t@（アットマーク以下は大学で付与されるメールアドレスと同じ）です。
(12)授業への出席	本科目は、講義・グループワーク、フィールドワークを含みます。上記すべての授業・作業に参加することを前提とします。 本授業は、原則対面での参加とし、「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が6回以上になると授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	出席停止などの理由により授業に出席できない学生に対しては、オンデマンド形式の受講を認めます（ゼミの場合のみ）。授業開始1時間前までにメールで連絡してください。
【教科書】	教科書は指定しません。必要に応じて資料を配布・案内します。
【参考書】	必要に応じて授業の中で紹介します。